

令和4年度 年度末 学校評価書

校訓・教育目標

明朗 剛健 立志

ふるさとに根ざし 明るく たくましく生きる生徒の育成

経営の重点事項

①学びと授業づくりへの挑戦 ②集団づくりへの挑戦 ③ふるさと活動づくりへの挑戦

具現化のための3プロジェクト

【学びプロジェクト】

テーマ：ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着及び活用
 - ① 比内中スタンダードの共通実践、段階的な見取りと補充指導
 - ② 個に応じた必要感のある家庭学習への取組
- (2) 授業力の向上・授業改善に関わる組織的研修及び実践
 - ① 学習課題の設定と見通しをもたせる工夫、「みらとびタイム」の充実
 - ② 教師のコーディネート力の向上、学びに向かう集団づくり

【心と体プロジェクト】

テーマ：ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる

- (1) 居心地のよい集団づくり
 - ① 互いのよさを認め合う場の設定
 - ② 学校行事を生かした学級・学年づくり、各種活動の充実
- (2) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成
 - ① 心に響く道徳授業の実践
 - ② 生徒指導の三機能を生かした取組

【生き方プロジェクト】

テーマ：ふるさとに生き、自らを変えていく力を付ける

- (1) 基本的な生活習慣の育成及び進化
 - ① あいさつで心をつなぐ人間関係づくり
 - ② 人との関わりに必要なスキルの獲得・向上
- (2) 生き方の探求 + とんぶりSDGs
 - ① 生徒会、委員会活動の充実
 - ② 進路学習や職業人による講座などの実施・充実

大館市立比内中学校

ア
生徒
の
状況

学校関係者評価 評価区分の 自己評価Aと	きわめて良好	自己評価Bの 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意識も高い／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学びプロジェクト

生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける。	中間	やや不十分	やや不十分	笑顔で表情よく、真剣に学習に取り組む生徒が多くなってきている。生徒指導の三機能、ICTの活用、授業の中での課題意識の持たせ方、共感的・協働的な学びを意識しながら、後期もさらに生徒に力を付けてほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	長年の課題である学力向上の数字に、地道な取組が表れてきている。授業参観から、授業も楽しそうである。授業での学習規律、学級の関係づくりのよい面を生かして、共通実践や同僚性を生かして伸ばしてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 生徒アンケートの結果から、各教師の授業づくりの工夫が学習意欲の向上につながるなど、一定の成果が見られた。しかし、その一方で生徒の実態に応じた取組が十分にできていないという思いをもっている教師がとても多い。後期は、授業の開始時刻の徹底など学習規律に関する生徒の意識改革を図り、学習習慣の確実な定着を図る。また、家庭学習の仕方を繰り返し指導し、学力向上につながる効果的な学び方を身に付けさせる。			
	【年度末（→次年度）】 秋田県学習状況調査の5教科全体の結果は全県平均と同程度の通過率となっており、学習指導の工夫及び改善について一定の成果が見られた。生徒・教師のアンケートの集計結果からも、生徒が基本的な学習習慣を身に付け、学ぶ喜びを実感できる授業実践が行われていることが分かる。しかし、授業における共感的・協働的な学び合いや家庭学習への取組については改善の余地が残されており、今後具体的な手立てを講じる必要がある。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着及び活用	①基本的な学習習慣の定着及び「深い学び」への取組	◇比内中スタンダードの共通実践、段階的な見取りと補充指導	2	3
	②家庭学習の時間確保と効果的な取組	◇個に応じた必要感のある家庭学習への取組		
(2) 授業力の向上・授業改善に関わる組織的研修及び実践	③共感的・協働的な学びにつながる授業改善	◇学習課題の設定と見通しをもたせる工夫、「みらとびタイム」の充実	2	3
	④学ぶ喜びを実感させる授業の構想と展開	◇教師のコーディネート力の向上、学びに向かう集団づくり		

全国学力検査及び県学習状況調査

			国語	社会	数学	理科	英語	合計
現中3	全国	H4	97.7	92.6	92.3			94.4
	県	H3	109.6	107.0	85.0	76.7	89.0	93.5
	県	H2	103.9	112.2	76.3	85.0	102.4	96.0
現中2	県	H4	100.5	99.2	78.5	108.8	106.9	98.8
	県	H3	90.1	104.1	76.6	81.8	81.1	86.7
現中1	県	H4	99.6	99.5	95.6	97.3	106.9	99.8

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着及び活用

① 授業における基本的な学習習慣の定着

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	19.9	59.0	19.3	1.9
年度末	27.3	57.1	14.3	1.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	11.8	52.0	27.6	8.6
年度末	17.1	50.0	27.9	5.0

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間		7	11	1	44%
年度末	1	10	6	1	54%

② 家庭学習の時間確保

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	21.1	47.8	24.2	6.8
年度末	18.2	46.8	30.5	4.5

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	9.9	36.8	40.1	13.2
年度末	7.1	42.1	41.4	9.3

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間		5	11	3	37%
年度末		5	10	3	37%

(2) 授業力の向上・授業改善に関わる組織的研修及び実践

③ 共感的・協働的な学びにつながる授業改善

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	24.8	47.8	23.0	4.3
年度末	26.6	49.4	21.4	2.6



1年生国語科の授業公開 (11月)

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間		12	6	1	53%
年度末	1	12	5		59%

④ 学ぶ喜びを実感させる授業の構想と展開

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	40.4	47.2	9.3	3.1
年度末	50.0	41.6	8.4	0.0



ICTを活用した個別授業 (11月)

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	11	6	1	54%
年度末	1	14	3		63%

Ⅱ 心と体プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる。	中間	おおむね良好	おおむね良好	学級づくりを基盤とし、自己肯定感の向上や生徒一人一人に寄り添う姿勢が落ち着いた学級の様子として表れている。また、特別活動において様々な集会を開き、目標に向かって全校生徒が共通理解しながら取組を進めていることも評価できる。
	年度	おおむね良好	良好	挨拶がよくなり、居心地の良い学級集団づくりにつながっている。アセスの継続も功を奏している。先生方の取組を生徒が認めている。生徒指導の機能を生かして問題なく対応できている。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	生徒、保護者アンケートの結果から、居心地のよい集団づくりについて、一定の成果が見られた。後期も学校行事を生かした学級づくりや、集団内での一人一役を徹底し、所属感を高める集団づくりを進めていきたい。		
	【年度末（→次年度）】	生徒、保護者アンケートの結果から、集団や社会の一員としての自覚や責任の育成について、成果が見られた。来年度は、学級活動の更なる充実に向けて、生徒の主體的な活動になるよう、計画していきたい。		
		生徒、保護者アンケートの結果から、生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組（充実した学校生活）がされたと感じる生徒が増えた。アセス等を活用し、教育相談など、一人一人に寄り添う対応ができた。今後も、実態に応じた効果的な対応を心がけたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(3) 居心地のよい集団づくり	⑤所属感を高める学級（及びその他の集団）づくり	◇短学活の充実、互いのよさを認め合う場の設定、行事を生かした学級づくり	3	3
	⑥集団や社会の一員として自覚と責任の育成	◇係活動、学級活動の充実、当番活動、ボランティア活動		
(4) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成	⑦道徳教育の充実	◇別様の活用・改善、思いやりをもった言動が身に付く取組、道徳授業の充実	3	3
	⑧生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組	◇生徒指導の三機能を生かした取組、アセスの活用		



全県大会連覇を果たした女子駅伝（9月）



とんぶり大使ふかわりょうさんを招いた合唱祭（10月）

(3) 居心地のよい集団づくり

⑤ 所属感を高める学級づくり

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	44.4	46.9	6.3	2.5
年度末	51.3	41.6	5.2	1.9

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	23.7	63.8	11.2	1.3
年度末	23.6	62.9	12.1	1.4

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	13	5		60%
年度末	2	15	1		69%

⑥ 集団や社会の一員としての自覚と責任の育成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	33.8	56.3	8.1	1.9
年度末	44.8	46.1	7.1	1.9

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	21.9	68.9	7.9	1.3
年度末	27.1	67.9	4.3	0.7

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	10	8		54%
年度末	2	12	4		63%

(4) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成

⑦ 道徳教育の充実（思いやりなどの道徳性）

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	41.6	47.8	8.7	1.9
年度末	48.1	46.1	5.8	0.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.3	63.2	9.9	0.7
年度末	31.9	63.8	3.5	0.7

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間		12	7		54%
年度末		16	2		63%

⑧ 生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組（充実した学校生活）

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	46.0	40.4	9.3	4.3
年度末	51.3	41.6	5.2	1.9

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	35.1	53.6	9.3	2.0
年度末	32.9	56.4	10.0	0.7

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	3	16			72%
年度末	3	15			72%

Ⅲ 生き方プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
ふるさとに生き、自らを変えていく力を付ける。	中間	おおむね良好	おおむね良好	ふるさとキャリア教育ではとんぶりSDGs、校則について考えた比内ミーティングなど、特徴的な取組を進めている。また、挨拶についても学校外では、どの生徒もすばらしい挨拶をしている現状がある。心が通い合うことで気持ちの良い挨拶ができると考えるので、引き続き校内でも気持ちの良い挨拶を目指して取組を進めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	とんぶりSDGsがアンケートからも教育資源として有効であり開発されている。地域に目を向ける良い機会となり、さらに掘り下げ、体験で終わらせないことが大事である。どんな力を付けたいか、どう付いてきたかを見取ってほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 生活委員によるあいさつ運動の実施もあり、生徒自身は概ね満足していることが分かる。しかし、保護者、教師との認識のずれが大きいことが課題である。目を見て、明るくあいさつをしようとしている生徒が増えてきていることを認めながら、引き続き、粘り強く指導にあたりたい。 生徒会主催の比内ミーティングや、各委員会のキャンペーンなど、主体的な活動を進めることができた。後期は、生徒会活動の3年生から2年生への引き継ぎの時期を生かして、さらに生徒の主体性を生かした活動になるよう支援していきたい。			
	【年度末（→次年度）】 規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践（ルールやマナー）について、生徒の「そう思う」の%が増えていたことから、生徒の意識が高まったことが分かった。※個別指導で対応 生徒、保護者アンケートの結果から、とんぶりSDGs等の体験活動や、生徒会、各専門委員会による主体的な活動について成果が見られた。来年度に向けて、各種活動がより生徒にとって主体的なものになるよう、計画していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(5) 基本的な生活習慣の育成及び進化	⑨校内外の相手に伝わるあいさつの実践	◇いつでもどこでも誰にでもあいさつを意識した取組	2	3
	⑩規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践	◇各指導部と連携した学級活動の取組、ソーシャルスキルトレーニング		
(6) 生き方の探求	⑪自主的・実践的な態度の育成	◇主体的実践力を高める生徒会、委員会活動の工夫	3	3
	⑫地域に根ざしたキャリア教育等の実践	◇進路学習や職業人による講話などの実践・充実		



とんぶりSDGsのPRと販売：大館きりたんぽまつり（10月）

(5) 基本的な生活習慣の育成及び進化

⑨ 校内外の相手に伝わるあいさつの実践
(明るく元気なあいさつ)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	42.9	43.5	9.3	4.3
年度末	37.7	47.4	14.3	0.6

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.3	52.6	19.1	2.0
年度末	27.0	48.9	23.4	0.7

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	6	11		48%
年度末	1	10	7		56%

⑩ 規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践
(ルールやマナー)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	45.6	47.5	5.6	1.3
年度末	53.9	42.9	2.6	0.6

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	23.0	63.2	11.8	2.0
年度末	19.1	66.0	13.5	1.4

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	12	6		58%
年度末		17	1		65%

(6) 生き方の探求

⑪ 自主的・実践的な態度の育成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	49.1	35.4	11.8	3.7
年度末	53.9	35.7	9.1	1.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	22.4	58.6	17.8	1.3
年度末	26.2	57.4	14.9	1.4

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	13	5		60%
年度末	1	10	7		56%

⑫ 地域に根ざしたキャリア教育等の実践
(体験学習、とんぶりSDGsなど)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	56.5	35.4	6.8	1.2
年度末	59.1	37.0	3.2	0.6

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	27.6	62.5	9.2	0.7
年度末	35.5	53.9	9.2	1.4

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	2	16	1		68%
年度末	5	13			76%

Ⅳ 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組を分かりやすく保護者や地域に伝えるとともに、地域の教育力を有効に活用する。 地域の活力となるよう双方向の連携を図る。	中間	おおむね良好	おおむね良好	分館対抗の行事に生徒がボランティアとして参加するすばらしい活動が見られた。また一方で、コロナ禍で制約がある中、学校では様々な取組が行われているが情報発信が不十分であるということから、今後はお便りやSNS等での発信の取組を期待する。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	とんぶりSDGsやキャリア教育などたくさん載せたいものがあるだろうが、タイミングを逃さず提示や発信してほしい。今後、地域学校協働本部事業がコミュニティ・スクールになっても、事業を精選し発展させてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	学年通信や各部活動のたよりで各学年の様子や活動の様子を伝えている。学校報の発行頻度とHPの日々の活動更新が十分でない。定期的に発行及び更新できるように準備していく。早朝作業など保護者の協力体制は良好である。今年度から行っている「とんぶりSDGs」では、地域の産業の理解と実践ができるように進めている。コロナ感染症の影響で地域行事への参加は十分とは言えないが、公民館への協力などできるものに参加している。		
	【年度末（→次年度）】	学年通信や各部活動のたより及び学校報で大会の結果や各学年の様子と活動の様子を伝えている。学校の情報を伝えるHP等については、随時更新及び発行できず、楽しみにしていた方にはご迷惑をおかけした。時機を逸することなく、効果的な配信及び発行に努めていきたい。 今年度から始めたとんぶりSDGsの活動については、肯定的な意見が多い。無理なく持続可能な活動になるように更に進化させていきたい。コロナ感染症の影響で人材の活用や地域行事への参加は十分とはいえないが、子どもハローワークや可能なところで地域の行事へ協力している。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(7) 保護者・地域等との連携	⑬保護者・地域への情報発信	◇学校報、学年・部活動だよりの内容充実、HP更新、学校開放	3	3
	⑭行事及びPTA活動の充実	◇各種PTA活動を通じた保護者の積極的な協力体制づくり		
(8) 地域力の活用及び地域貢献等	⑮地域の教育資源・人材の活用	◇令和型CSへの準備、地域学校協働本部事業との連携	3	3
	⑯地域での活動及び行事への参加、愛着心の醸成	◇地域行事・地域貢献活動への参加と協力		



比内支援学校とポッチャによる交流(10月)



郷土料理学習会のきりたんぼ鍋作り(10月)

(7) 保護者と地域等との連携

⑬ 保護者・地域への情報発信

[生徒] お便りを見せているか

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	66.5	25.3	6.3	1.9
年度末	67.1	22.4	9.9	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	20.5	63.6	13.2	2.6
年度末	24.8	59.6	13.5	2.1

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	6	12	3		71%
年度末	4	12	4		67%

⑭ 行事及びPTA活動の充実

[生徒] お便りに目を通してしているか

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	57.6	31.6	7.6	3.2
年度末	51.3	34.2	11.8	2.6

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	19.9	54.3	17.9	7.9
年度末	15.6	62.4	18.4	3.5

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	5	15	1		73%
年度末	4	15	1		72%

(8) 地域力の活用及び地域貢献等

⑮ 地域の教育資源・人材の活用

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	33.1	45.9	16.6	4.5
年度末	34.9	40.8	21.1	3.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	21.2	60.9	15.9	2.0
年度末	18.4	63.1	15.6	2.8

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	4	14	3		68%
年度末	3	10	6		61%

⑯ 地域での活動及び行事への参加、愛着心の醸成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	29.1	38.6	25.9	6.3
年度末	31.6	43.4	21.1	3.9

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	27.2	63.6	7.9	1.3
年度末	34.0	51.8	14.2	0.0

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	1	16	4		62%
年度末	3	13	4		65%

V 学校運営 学校管理

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校運営に対して主体的な参画をし、組織的に取り組んでいる。 危機管理も含めて、校内外とも安全・安心な教育活動を展開する。	中間	おおむね良好	おおむね良好	引き続き学校内外の環境整備、危機管理徹底をお願いしたい。学校前の銀杏並木については、市道であることから機会を見て市に整備をお願いする。コロナ感染については、現在比内中では感染の拡大がない状況であると聞いている。引き続き感染対策の徹底もお願いしたい。
	年度	おおむね良好	良好	学校経営の柱としての「あしば」が意識して取り組まれている。校舎の老朽化にもできる範囲で対応できていることが未然に事故を防げている。メディアコントロールの危機管理をお願いする。今後も職員の課題意識と同僚性を生かしてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	昨年度の課題を踏まえ、評価一覧を作成している。職員には、学校経営に参画する意識を高めるとともに、生徒には、ひない力を身に付けるために、あしばを固めるのだということ、様々な機会を通じて発信していく。 街頭指導や安全点検を定期的に行い、情報共有とできる範囲での処置をしてきている。早急に必要なのは、教育委員会をお願いして、可能な範囲で修繕していただいている。コロナ感染症拡大防止の共通の取組で、現在のところ校内でのクラスター等の発生を防いでいる。		
	【年度末（→次年度）】	様々な力を身に付けさせる土台として、「あしば」をキーワードに学校経営を進めた。少しずつ、生徒たちは成長してきたが、全員ができるまでには到達していない。来年度更に進化できるように、取組を進めていきたい。 街頭指導や安全点検の実施により、事故防止の情報共有や対応にができた。特に校舎については、緊急性の高いものを教育委員会をお願いし、修繕していただいているが、老朽化が激しい。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応も共通理解と情報共有により、クラスターの発生がないよう取り組んでいる。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(9) 学校運営への主体的な参画	⑰学校教育目標及び目指す生徒像の実現	◇共通理解による具現化に向けた共通実践、創意ある教育課程編成	3	3
	⑱評価一覧の実践課題の共通理解と実践	◇具体的内容、評価指標、実践課題等を意識した取組		
(10) 安全・安心な教育活動の取組	⑲学校保健・安全等の効果的な取組	◇日常の健康観察の徹底、メディアコントロール、通学路点検、街頭指導、避難訓練	3	3
	⑳事故・危険発生の未然防止	◇安全点検の実施、日常的校舎・校地管理・補修、速やかな情報共有		



薬物乱用防止教室：比内ライオンズクラブ、大館警察署（11月）



福祉施設に向けた年賀状制作ボランティア（12月）

(9) 学校運営への主体的な参画

⑰ 学校教育目標及び目指す生徒像の実現
(あしばを意識した生活)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	36.1	52.5	7.6	3.8
年度末	42.8	47.4	9.9	1.3

[保護者]

実践⑰の質問項目なし

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	2	15	3		65%
年度末	3	17			72%

⑱ 評価一覧の実践課題の共通理解と実践
(弱さや課題の克服)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	33.5	48.1	16.5	1.9
年度末	43.4	39.5	15.8	1.3

[保護者]

実践⑱の質問項目なし

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	3	13	4		65%
年度末	3	15	2		68%

(10) 安全・安心な教育活動の取組

⑲ 学校保健・安全等の効果的な取組

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	61.4	30.4	6.3	1.9
年度末	62.5	30.9	5.9	0.7

[保護者]

実践⑲の質問項目なし

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	2	17	1		68%
年度末	4	16			73%

⑳ 事故・危険発生の未然防止
(危険箇所等の連絡)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	43.7	28.5	18.4	9.5
年度末	42.1	28.9	21.7	7.2

[保護者]

実践⑳の質問項目なし

[教師]

人	よい	まあまあ	少し	不十分	達成率
中間	5	15			75%
年度末	6	13			77%